

まちづくり交付金 事後評価シート  
谷山第二地区

平成20年12月

鹿児島県鹿児島市

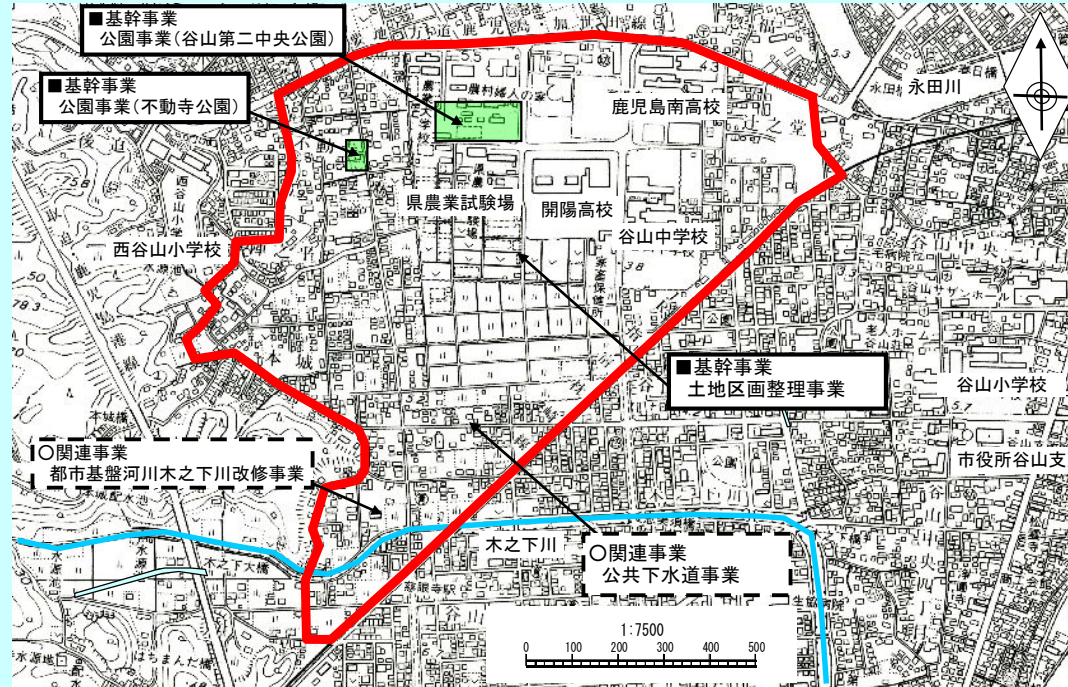
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	鹿児島県		市町村名	鹿児島市		地区名	谷山第二地区			面積	72.9ha		
交付期間	平成16年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	1,505.5百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	公園(谷山第二中央公園、不動寺公園)、土地区画整理事業(谷山第二地区)									
			提案事業	なし									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	公園(本城公園、岩下公園)			土地区画整理事業の進捗状況から、計画期間内の整備が困難となったため、交付対象事業から本城公園及び岩下公園を削除した。			指標1の「避難場所(公園等)までの平均距離」、指標3の「公園のゆとり指数」が未達成である。			
			提案事業	なし									
	新たに追加した事業		基幹事業	なし									
提案事業			なし										
交付期間の変更		当初	平成16年度～平成20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし						
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度					
	指標1	避難場所(公園等)までの平均距離	m	270	H15	140	H20		200	△	あり なし ●	公園整備は計画どおりに進まなかったが、近隣公園の谷山第二中央公園と街区公園の不動寺公園の整備が完了し、コミュニティの場となる公共空間と災害時の避難場所が確保された。	平成21年5月
	指標2	緊急車両が離合できる道路の割合	%	43	H15	80	H20		68	△	あり なし ●	道路整備は計画どおりに進まなかったが、地区の大部分の道路において、消防車や救急車等の緊急車両が離合できる幅員が確保された。	平成21年5月
指標3	公園のゆとり指数	m <sup>2</sup> /人	0.95	H15	5.80	H20		4.90	△	あり なし ●	公園整備は計画どおりに進まなかったが、近隣公園の谷山第二中央公園と街区公園の不動寺公園の整備が完了し、コミュニティの場となる公共空間と災害時の避難場所が確保された。	平成21年5月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1					
	その他の数値指標1	消火活動範囲の拡大	%	69.3	H15				83.4			道路が整備されたことにより、新たに消火栓が設置され、地域の防災性が向上した。	平成21年5月
	その他の数値指標2	安全な通学路の割合	%	0.0	H15				64.9			道路が整備されたことにより、児童、生徒等の通学及び地域の安全性が向上した。	平成21年5月
その他の数値指標3	視覚障害者誘導用ブロックの整備延長	m	1,648	H15				4,230			道路整備に併せて視覚障害者誘導用ブロックを設置したことにより、視覚障害者に対する安全性が向上し、戸外活動の場が広がった。	平成21年5月	
その他の数値指標4	住民の安心・安全満足度	%	39.2	H15				84.8			まちづくり交付金や関連事業の実施により、公共施設の整備改善が図られ、地域住民の安心・安全に対する満足度が高まった。	平成21年5月	
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宅地の利用増進とともに、良好な住環境の形成が図られた。</li> <li>・消防車や救急車等の緊急車両の通行が可能となり、到着時間の短縮も図られ、市民の安心・安全に貢献した。</li> <li>・良好なまち並みが形成されるなど、都市景観が向上した。</li> <li>・県農業試験場跡地に開陽高校が開校し、また、盲学校の移転が決定するなど、既存の谷山中学校・鹿児島南高校とあわせて文教施設の集積が図られた。</li> </ul>												
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス	公園設計に係る住民アンケート調査					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域住民の意見を反映したまちづくりに努める。		
	持続的なまちづくり体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

## 様式2-2 地区の概要

谷山第二地区（鹿児島県鹿児島市）まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
公共施設の整備改善を行うことにより、人々が安心して暮らせるゆとりある都市を形成する。	避難場所（公園等）までの平均距離 単位：m	270 H15	140 H20	200 H20
	緊急車両が離合できる道路の割合 単位：%	43 H15	80 H20	68 H20
	公園のゆとり指数 単位：㎡/人	0.95 H15	5.80 H20	4.90 H20



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹線道路、区画道路、公園などの公共施設の整備改善が図られたが、本地区の西側には、まだ未整備の箇所が残されている。</li> <li>歩道が整備され、児童、生徒等の通学等の安全が図られたが、本地区の西側には整備すべき歩道が残されている。</li> <li>公園2箇所の整備によりゆとりある憩いの場や避難場所が確保されたが、本地区の西側には整備すべき公園が残されている。</li> <li>緊急車両が離合できる道路が確保され、安全性と防災性が向上したが、本地区の西側には緊急車両の離合が困難な道路が残されている。</li> <li>土地区画整理事業の進捗に伴い、区画道路での交通事故が発生していることから、交通安全施設を整備するなど、歩行者や車両通行の安全性の確保が必要となってきた。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種事業により改善された良好な住環境を維持するため、市民と協働した公共施設の維持管理に努める。</li> <li>市街地の発展と都市機能が阻害されている箇所が残されていることから、道路、公園等の公共施設の整備改善を行い、居住環境良好な市街地の形成を図る。</li> <li>土地区画整理事業の進捗に伴い、これまでの問題箇所は解消されつつあるが、道路の走行性が向上したことにより、他の箇所での交通事故が発生していることから、歩行者や車両が安全かつ快適に移動できるよう交通安全施設の整備を図る。</li> </ul>